



「福は内ノ 鬼は外ノ」と元気な声で豆やキャンディーを投げる園長先生と子どもたち

2月3日は節分の日。フタバ保育園では2月2日、1日早い豆まきが行われ、「福は内ノ鬼は外ノ」と子どもたちの元気な声が響き渡りました。

# 福は内！鬼は外！ フタバ保育園で豆まき

豆まきは、年長組の男の子たちが年男役となり、鬼に扮した子どもたちに、豆やキャンディー、チョコレートなどを投げつけて行われましたが、鬼は一向に逃げず拾うばかり。それでも年男は鬼めかけ、大声を張り上げて投げていました。

また、鬼のお面は子どもたちの手作りで、紙袋など身近にあるものを利用して作ったもの。先生が見守る中、赤、青、緑など色とりどりのかわいい鬼が走り回っていました。

豆まきのあとは無病息災を願い、みんなで拾った豆などをいただきました。



ちびっ子鬼が いっぱいノ



各地でも好評を博している林家木久蔵師匠の講演

## 林家木久蔵師匠を招いて 文化講演会

2月10日、町文化会館を会場に、文化講演会が行われました。

この講演会は、各分野で活躍している著名人を講師として招き、その知識や経験などを地域の方に学んでもらおうと、毎年文化会館が主催し開いているもので、今回の講師は、テレビなどでお馴染みの落語家林家木久蔵師匠。会場には250人余りの方が集まりましたが、「笑いと健康 僕の人生落語だよ」と題した講演にみなさん熱心に耳を傾けていました。

## 第26回山武郡市民駅伝競走大会 伊東康晴くんが区間賞

山武郡市体育協会主催による、第26回山武郡市民駅伝競走大会が、2月11日に郡内各市町村から9チームが参加して蓮沼村内周回コース(12区間、30・8km)で行われました。

横芝町は、1月に行われた町駅伝大会で好走した選手を中心に出場。激しいレース展開の中、惜しくも上位入賞はなりませんでしたが、小学生男子の11区で大総小学校6年生の伊東康晴くんが区間賞をとるなど、各選手がそれぞれ懸命な走りを見せ、総合で6位の成績を収めました。



郡内各市町村 9チームが一斉にスタート